

館報



6・7・8月

合併号

No. 770・771・772

令和2年
(2020年)

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い館報やまがた編集部企画校正会議が開催できなかったため、合併号として発行いたしました



働
姿

村の活性化を願って

ほんの たけと
坂野 岳人さん(小坂)

2017年、山形村初の地域おこし協力隊として活動を始めた坂野さん。携帯電話やデザイン系の仕事をしていた経験を活かし、SNSなどで情報を発信し続けている。もちろん、デジタル機器の取り扱いはお手のものだ。「自分が得意としていることを活かして、地域に役立っていきたい」と熱く語ってくれた。

(8月20日 役場地域おこし推進室にて)



←館報やまがたのバックナンバーは村のホームページ(こちらの二次元コードから)でも見ることができます

山形村男女共同参画推進委員会 主催講演会のお知らせ

コミュニケーションストレス ～男女のミゾ、“話が通じない”の正体

◎日 時 **令和2年 11月28日(土)**
午後1時30分～午後3時
◎場 所 ミラ・フード館2階 ホール・ミラ
◎講 師 **黒川 伊保子さん**



株式会社
感性リサーチ代表取締役

長野県生まれ栃木県育ち。1983年奈良女子大学理学部物理学卒。男女の脳の「とっさの使い方」の違いを発見し、人間のコミュニケーション・ストレスの最大の原因を解明。その研究成果を元に多くの著書が生み出されている。中でも、『妻のトリセツ』『夫のトリセツ』は、家庭の必需品と言われ、ミリオンセラーに迫る発行部数を誇る。

◎参加費 無 料

マスク着用の上、お越しください

◎その他・参加申込・定員などについては新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み検討中です。後日配布する広報やチラシをご覧ください。
・状況によっては中止となる場合があります。
お問い合わせ 住民課 ☎98-3112

KYT研修@子ども会育成会

7月26日(日)、トレーニングセンターふるさと大ホールにて、子ども会育成会主催の研修会が行われました。今年はコロナ禍の影響で子どもたちと関わる代表者のみで危険(K)予知(Y)トレーニング(T)の考え方を教わり、初めてKYTに触れる参加者も多く良い研修になりました。



夏の交通安全運動

7月22日(水)から31日(金)まで、夏の交通安全やまびこ運動が行われました。



「歩行中・自転車乗車中の交通事故防止」「高齢運転者等の安全運転の励行」「飲酒運転の根絶」が運動の重点項目でしたが、子どもが被害者にならないために、また高齢者が加害者にならないために、運動期間中にかかわらず、各家庭で交通安全について話し合うことも大事だと感じました。
また、運動初日には出陣式と啓発活動も行われました。



清水高原の森の遊び場を訪ねる

高木の手入れやロープを使って木に登るツリークライミングなど樹木のスペシャリストである岡上洋さん(小坂)が清水高原の森を整備し、子どもたちの遊び場作りを行っています。

別荘が建ち並ぶ唐松林の奥に荒地を拓いた広場がありました。ストライダーで走れる自転車コースや高木から吊り下げた特大スイングのブランコに、岡上さんのお子さんと友人家族が楽しそうに遊んでいました。森の中なら大声でもOK。解放感溢れる子どもたちの笑顔が印象的でした。
岡上さんからは、「清水の自然が好きで始めたことが、賛同してくれた方たちの協力もあり魅力的な場所になった。安全面を考えながら親子で遊びにきてもらえるように取り組みたい」とこれからの展望について話されていました。



詳しい場所など詳細は岡上洋さんまでお問合せください。
☎080-6997-2858

山すそ

少年サッカークラブでコーチをするようになってから、子どもとの向き合い方の本をよく読むようになった。それまでは本を読めば1分程度で眠りにつけた私。今では、活字中毒とまではいかないものの、古本屋に行きたい中毒になっている▼10数年後、人間はAIに支配されてしまうのか？そのような本を読んだ方もいるかと思う。AIに搭載できないものがあるため、その心配はないという。AIにないもの、それは読解力で、子どもたちに身につけさせることが生きぬくための大事な武器になると言われている▼「読解力」……それは本をたくさん読めば身につくものではないらしい。ではどうすれば？

私なりの答えは、『多くのことに興味をもたせる』だ。人は物事に前のめりになると、もつと知ろうとし、即座に吸収していく。勉強・運動・遊び、すべてそうだ。だから我々大人は、子どもにいろいろなことを経験させ、様々な中毒にさせなくてはならないと考える。それらを五感で吸収して、どんな状況下でも一人で戦える強い大人に育てたい。

図書館からのお知らせ

*蔵書点検のため

臨時休館します*

期間: 9月1日(火)~4日(金)

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。なお、本の返却は、返却ポストで受け付けています。

*おはなしの会「こぐま」

再開しました

第1・3木曜日 午前10時30分から
図書館においでください。

*おいしいケーキとお茶と本の会
「ぶっく・かふえ」再開しました

第4木曜日 午後2時~午後3時30分
紹介したい本を持って、図書館においでください。ケーキの持ち帰りの都合上、お電話でご予約下さい。
山形村図書館 ☎98-3155

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No.48

編集=山形村図書館

集中でできます

ついでに付き学習室に大変身!

学生のみなさん、図書館の学習室は、4人掛けの大型をついでに仕切りました。狭苦しいかなと思つたら、これがなかなか快適なのです。まわりの視線がさえぎられるので、自分だけの世界に没頭できます。



さらに、高性能の空気清浄機も完備しました。調べものに、受験勉強に、ぜひ図書館の学習室を利用してくださいね。

夏休み特別展示好評でした

「生物多様性の本箱」

地球のいのちつないでいこう
2011年から今年2020年までの10年間は、生態系保全に取

り組む「国連生物多様性の10年」です。

私たち人間は、ほかのたくさん生き物とつながり、生物多様性の恵みを受けて暮らしています。さまざまなき生き物と共存するため、人間ができることを考えよう

という企画でした。夏休み中には、自然保護集団「アクアの会」の協力で、村内のビオトープの生き物を集めた水槽も展示しました。



夏のおはなし会

人形劇を楽しみました

8月6日(木)、トレーニングセンターふるさと大ホールに親子づれ15人が集まりました。今年も村内の人形劇団「てぶくろ」のみなさんが、楽しい人形劇を上演してくれました。演目は「ねずみくんのチョコッキ」と「うさぎとかめ」。半年ぶりのおはなしの会は、大いに盛り上がりました。



おすすめ新着本紹介

『ママはかいぞく』

レミ・サイヤール (光文社)

ぼくのママは海賊。宝の島を目指して冒険に出かけるけれど、帰ってきたママはいつもとても疲れています。そして、ついにママが宝の島にたどり着く日が来ます。乳がんと闘うママを海賊になぞらえた絵本です。



『わたしたちのカメムシずかん』

鈴木 海花 (福音館書店)

校長先生の一言から、子どもたちは臭くてやつかいものカメムシを調べ始めます。最新の研究を基にカメムシをわかりやすく紹介。『月刊たぐさんのふしぎ』から生まれた、実話をもとにした絵本です。



『山に木を植えました』

スギヤマ カナヨ (講談社)

海を元気にするために、どうして山に木を植えるのでしょうか?それは、森の腐葉土の中で生まれる「フルボ酸」と「鉄」に大きな秘密がありました。森と海、人と



自然のつながりを描く絵本です。

『捜査一課式防犯BOOK』

佐々木 成三 (アスコム)

あおり運転、ストーカー、振り込め詐欺、スマホ上の犯罪…。元捜査一課刑事ならではの防犯テクニックを、イラストとともにわかりやすく紹介します。



『女神のサラダ』

瀧羽 麻子 (光文社)

会社の仕事に疲れ果てて、群馬の農場に転職した沙帆をえがく「夜明けのレタス」。夫の実家の柑橘農家で、次第に認められていく美優をえがく「レモンの嫁入り」。全国各地を舞台に、農業に関わる女性の想いと悩みを描いた心温まる短編集です。



*新着DVD

『OKINAWA1965』

米軍占領下で、戦争も基地も無い沖縄を目指した人々の想いをいま、見つめなおします…。『グリーンブック』『新聞記者』『こんな夜更けにバナナかよ』『トイストーリー 2. 3. 4』など。





～いよいよ還暦～ みんなどうしているだろう

今月の 声

上條 光一 (小坂)

昨年還暦を迎え、4月に満60歳となりました。今年4月までに同級生も皆60歳になっていきます。昨年令和になりましたが、天皇陛下と同学年です。

還暦は十干十二支が戻る、ということですので、幼児期の頃の山形村の様子を思い出したいと思います。

我々は昭和41年に卒園・小学校入学。山形保育園に統合直前の卒園生です。小学校の1学年は全部で64人、32人ずつの2組でした。たしか男女も同数だったはず。残念ながら既に何人かは鬼籍に入ってしまった。

村内在住はたぶん15人前後。保育園から小学校の時期は俗にいう高度経済成長期で、山形村も結構変わりました。この頃の数年で、トラクターをけん引した耕運機が4輪トラックに変身。白黒TVが普及し、子どもの楽しみは鉄腕アトムや鉄人28号。電電公社の電話も各家庭に入り始め、その黒電話そっくりの有線放送電話は全戸に設置されました。確か村内通話は無料だったと記憶しています。底面のスピーカーから村からのお知らせが放送される優れものでした。ちなみに有線放送電話廃止直前に大阪出身の会社後輩がこれを見て、「電話が2台ある、1台しやべった」とびつくりしていました。日本全国共通ではないことが分かりこつちもびつくり。

小学校は昔の木造2階建て。冬は田んぼや校庭でスケートですが、小学校低学年の頃は下駄スケート。靴スケートになったときは「目が点」です。なんせ靴が革で出来ているんですから。小学校正門前の道が舗装になったのも小学校の頃。当時のアスファルト舗装は、夏にはドロドロ溶けたものです。アポロ11号の月面着陸では、通常授業をやめて視聴覚室でTV中継。先生が見たかったんでしょう。4年生の時です。この頃カラーTVが普及し、NHKとSBCのほかにコンバーターでNBSも映るようになりました。

まあ、今からみるとまだまだ不便だったとはいえ、この時期に山形村も文明社会の基本的条件をクリア。

さて、本稿が出るのはお盆明けです。今年はコロナでじゃんじゃらや花火が中止になりました。花火には例年還暦記念玉もあると聞いています。還暦記念玉の代わりに本稿を少しでも多くのみなさんに読んでいただき、コロナ終息後の宴会話のネタにしたいだければ幸いです。

祝 館報やまがた 70歳! 祝

雑誌様式(1962年～)

新聞様式(1950年～1961年)

→初めての大型ロゴ。手書きのよな愛嬌のあるデザイン

No.087～099



2パターンあるロゴはいずれも緻密に描き込まれており、誌面の約5%というサイズでありながら、全体の雰囲気を見事に引き締めている



No.100～479



→「やまがた」の後ろにあるのは木々が生い茂る山のように見える

No.480～699



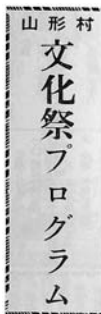
→山形村の「山」をモチーフにしたデザイン。下の横線が消えているケースがあるが、こちらが正式版。

No.700～現在



→山・田園・風を連想させるデザイン。山形村の理想形

→特例も!



館報やまがたは本号で満70歳となりました。この機会に誌面の顔である題字(ロゴ)に着目して館報の歴史をご紹介します。

右写真：口元に手拭いをして、面内に透明のプラ板を上下に装着し、唾液の顔への付着と飛散を防止しています。
下写真：面を着けない素振りの際も間隔を空け、口に手拭いをしています。



検温・消毒に加え、口の手拭いとシールドで唾液の飛沫感染を防止しています。

山形少年剣道クラブ

私たちの生活を激変させてしまった新型コロナウイルス。山形村の公共施設も臨時休館となり、スポーツ・文化活動がほとんどストップしてしまいました。
館報編集部では今回、山形村スポーツ団体連絡協議会所属団体の協力をいただき、各団体が現在行っている感染防止対策や現状についてお伝えします。

山形JVC(少女バレ)

運動時以外はマスクを着用し、こまめな手指の消毒を徹底しています。村外での活動は、各自治体からの指示通りの対策を徹底しています。



監督の話も聞くのも、間隔を空けてマスク着用を徹底。飲料やタオルの共用もしないようにしています。

私たちのコロナ対策

(取材協力) 山形村スポーツ団体連絡協議会

ナイターソフトボール連盟

8月1日(土)より希望チーム(Aリーグ5チーム・Bリーグ4チーム)によるリーグ戦を開催しています。感染対策を各チームに徹底して、無事全試合できることを願っています。



コロナの影響を受け、5月からのリーグ開幕を予定して作成したパンフレットですが、通常のリーグ戦は開催できませんでした。

早起き野球連盟

県内でも感染者数が増え始め、感染警戒レベルが上がったため、残念ではありますが、第51回山形村早起き野球大会リーグ戦は中止となりました。



熱戦が繰り広げられる予定であったグラウンドマウンド。寂しい限りです。

ソフトボールクラブ

自宅を出る前に検温をして、体調が悪いメンバーは参加しないように徹底しています。グラウンド整備用品は共有して使うので、手の触れる部分の消毒を欠かさず実施しています。

新型コロナウイルス流行で中止になったイベントたら

- ◆6月
 - 19日(金) 小学校音楽会
 - 20日(土)~B&G海洋センター営業
 - 21日(日) やまのこ祭り
 - ◆7月
 - 5日(日) 松本消防協会ポンプ奏法・ラッパ吹奏大会
 - 8日(水)~鉢盛中学校1年生乗鞍登山
 - 8日(水)~鉢盛中学校職場体験
 - 8日(水) ピアやまがた防災訓練
 - ◆8月
 - 14日(金) 山形じゃんずら
 - 14日(金) 山形村成人式
~令和3年8月13日へ延期
 - ◆9月
 - 16日(水) 山形村敬老会
 - ◆10月
 - 11日(日) 第72回村民運動会
- ※主なイベントを抜粋して掲載しています。

左の表は新型コロナウイルスの影響で予定が変更になったイベントの一部ですが、この他にも公民館の主催するイベントや学校の部活動の大会など、ここには載せきれないほど、中止や延期となっていました。関係者の方々の苦労は絶えませんが、それでもなんとか開催できる方法を見つけ出し、また、来年は開催できることを信じて活動したいですね。

今回掲載できなかった団体もありますが、活動を再開している団体全てで各公共施設の感染対策や上部団体のガイドラインを遵守して活動しています。一日でも早く今までのような日常が戻ってくることを願います。
※情報を提供いただいた団体の皆さまありがとうございます。本誌発行をもつてお礼に代えさせていただきます。

公民館講座



寄せ植え講座

7月16日(木)、小林徹さん(小坂)を講師に寄せ植え講座が行われました。今年度初の講座は「こけ玉作り」でした。参加者の個性が表れる作品が多数出来上がり、コロナ禍でも和みの時間になりました。

参加者が作成したこけ玉の一部はトレーニングセンターや山形小学校などに展示していただきますので、ぜひご覧ください。



新聞にも掲載された話題のおやし塾。本年度は、蕎麦プロジェクトと銘を打って公民館関係者の畑を借りて種から蕎麦を育て、収穫・脱穀・そば打ち体験など大々的に活動を行う予定です。

おやし塾蕎麦プロジェクト発足!!

昨年度好評だった木を使った講座や、コロナの影響で実施できなかった餃子づくりなど多彩な活動も計画し、



7月10日(金) 年間計画作戦会議

ますます注目度を増す講座となります。8月7日(金)には、プロジェクトスタートとなる蕎麦の種まきを行いました。種まき機も用意しましたが、種の大きさが合わずに断念…。全員で腰を痛めながら手作業で種を蒔きました。蕎麦の成長記録や収穫・脱穀・そば打ちについても続報をお届けする予定です。楽しみに！



おいしい蕎麦になれ～!

三系車②

ふるさと伝承館の活動を紹介する「三系車」。第2号となる今回は、資料移動の様子をご紹介します。

老朽化のため今年度で取り壊しを予定しているふるさと伝承館では、これまで展示・収蔵されていた貴重な歴史的資料を新たな収蔵庫へ移動する真つ最中です。

まず取り掛かっているのが「資料クリーニング」。これは、資料を保存や活用に適した状態にするための大切な作業です。点数がとても多いので時間がかかりますが、3名の職員が丁寧に、且つ、スピーディーに頑張っています！



●「資料クリーニング」
資料を傷付けないように、柔らかい刷毛を使って表面の汚れを取り除きます。きれいになった資料たちは、収蔵庫のなかで次の出番を待ちます。

●クリーニングと一緒に点検も行います。資料の状態を細かく記録することで、これからの保存に役立てます。

風

(敬称略)

5〜7月のおめでた・おくやみを掲載します。

おめでた(子・親)

- 海野 心咲・清 眞代・上竹田
- 宮坂 颯・徹 望・下大池
- 中山 凌太・俊樹 真己・上竹田
- 折井 虹心・栄司 恵・下竹田
- 小林 蒼・達弥 美香・小坂
- 緒方 奏音・侑弥 成美・下竹田
- 山下 楠央・勝弘 裕子・上大池

おくやみ

- 小野美佐子・94歳・小坂
 - 青沼 房子・76歳・下大池
 - 増澤 隆子・89歳・上竹田
 - 上條 賢憲・101歳・上竹田
 - 大月 満保・91歳・上大池
 - 松本フサ子・73歳・上竹田
 - 百瀬 定雄・94歳・下竹田
 - 百瀬 榮嗣・86歳・小坂
 - 宮澤 幸子・90歳・上竹田
 - 桐原 薫・65歳・下大池
 - 小口 茂雄・72歳・上大池
 - 笹川 忠良・88歳・小坂
 - 百瀬利代子・93歳・上竹田
- ※4月末掲載分
笹町 美嘉・89歳・下大池

新型コロナに負けるな！ 山小わくわくクラブ 子どもたちの好奇心は止まらない！

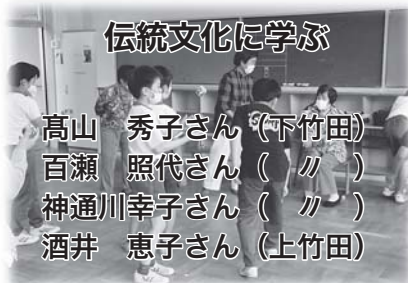
今年もわくわくクラブ（15クラブ）がスタート！地域の方が講師となっている9クラブを紹介します。

【写真上部：クラブ名 写真下部：講師名（地区名）】



自然工作

上條 一則さん（下竹田）



伝統文化に学ぶ

高山 秀子さん（下竹田）
百瀬 照代さん（川）
神通川幸子さん（川）
酒井 恵子さん（上竹田）



フラワーアレンジメント

大池 寛子さん（下大池）



イラスト

丸山 正彦さん（下竹田）



手芸

川上 ひろ子さん（下竹田）



書道

塩原 尚子さん（中大池）



絵手紙

住吉 すみさん（小坂）



運動

教育委員会職員



写真

山口 今朝二さん（小坂）

あなたが残したい山形村の風景第4回フォトコンテスト開催!

～多くのおみなさまのご応募お待ちしております～

応募条件 風景写真で、応募点数は一人2点まで、入賞は一人1点とします。
入賞作品の著作権は主催者に帰属します。

(応募作品は返却しません)

写真サイズ サービスプリントの「L」版 デジタル画像の場合は、8MB以上

審査・表彰 山形村公民館 ほか
●最優秀賞1点 ●優秀賞1点
作品は次年度の生涯学習カレンダーへ
掲載させていただきます。

締切 令和2年10月23日（金）

問合せ・応募先 山形村公民館（☎98-3155）



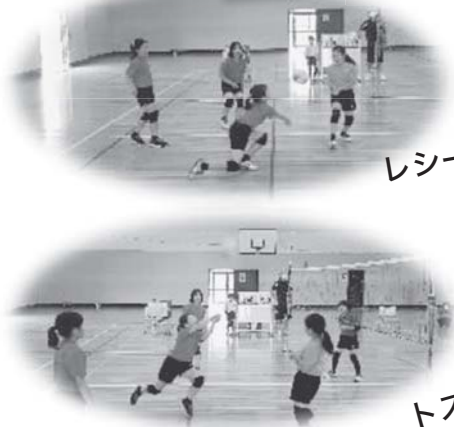
長野米カップ 準優勝



山形JVC(少女バレー)

長野米カップで準優勝し、9年ぶりの県大会出場!!子どもたちは「勝ちたい!」という強い気持ちで1つのボールを全員で必死につないでいました。一つ一つのプレーが感動を呼び、保護者の皆さんと応援することができました。子どもたちのあの嬉しそうな表情は輝いていました。これからも子どもたちが「バレーが楽しい!やっつてよかった!」と思えるように保護者の皆さんと協力して活動していきたいと思えます。

監督 宮城 隼人



私は、スポーツは見るよりも実際にやる方が圧倒的に好きでした。しかし、子どもたちが一生懸命プレーしている姿を見ているうちに、のめりこんでいる自分があります。クラブ活動は親が大変!と悩んでいるみなさん。「子どもたちがのびのびとプレーできること」「保護者への負担を最小限にすること」をモットーにしているJVCへの入部を心よりお待ちしております。まずは、お子さんと一緒にぜひとも見に来てください☆

保護者会長 百瀬 貴俊

山形JVCは、4・6年生、計9人のチームです。去年の11月から新しいチーム作りを始めました。今年、例年より練習や大会が少なくなっていますが、試合で勝てるようにチームで協力して週3回の練習にはげんでいます。6年生は残り少ないので、全力で楽しくバレーをしたいです。

キャプテン 上條 結依

山形JVCの練習は、楽しく、にぎやかにがんばっています。その成果か、2月には県大会への出場を決めることができました。残念ながらコロナの影響で中止になりましたが、次の大会でも結果を残せるように、みんながんばりたいです!

副キャプテン 青柳 凧紗



来年度から6年生が卒業して4人だけになります。参加メンバー大募集中です。よろしくお願いします。

